

新型コロナウイルス感染症拡大防止に係る知事コメント(4/30)

本日も悲しいお知らせからお伝えしなければいけません。

昨日、新型コロナウイルスに感染し、県内医療機関に入院されていた方1名がお亡くなりになりました。これにより県内で確認された新型コロナウイルスに関連した死亡者数は、合計で5名となりました。お亡くなりになられた方の御冥福をお祈り申し上げますとともに、御遺族の方には心よりお悔やみ申し上げます。

既に大型連休が始まっています。まずはここをしっかりと乗り切って、あなたと、あなたの大切な人の命を守って参りましょう。

ここ数日、新規感染者数は引き続き1桁台で推移しており、これまでの外出自粛、学校休校による自宅待機、自主休業や分散出勤、リモートワーク等による成果が着実にあらわれていると思います。お一人お一人の取組に感謝申し上げます。感染拡大防止に対する県民一丸となった取組に対し、心からの敬意と感謝を申し上げます。

しかし、連日申し上げている通り、ここで気を緩めるわけにはいきません。

あらためて県民の皆さまへお願いです。

- ①手洗いの励行、マスクの着用、咳エチケットの実施をお願いします。
- ②みんなで未来を変えよう！沖縄5分の1アクションを徹底していきましょう。人との接触を8割減らすというイメージが付きにくいかもしれませんが、10分の8、半分にすると5分の1です。場所、時間、人数などを減らして1/5にしましょう。ご自身の周りで置き換えて、各家庭や職場で実践してください。

人との接触を8割減らすため、引き続き、不要不急な外出はおやめください。必要最低限の買い物等を除き、ご自宅でゆっくりお過ごしください。

- ③県内全地域における行楽地について、お出かけすることはおやめください。県管理のビーチや公園等は駐車場を含めて閉鎖し、市町村にも同様の取組を求めているところであり、今はどうか我慢してください。
- ④緊急的な場合を除き、本島と離島間、離島と離島間の移動はおやめください。県を越えての行き来もおやめください。離島には十分な医療施設が整っておらず、皆さまの行動で離島の医療崩壊につながりかねません。

伊江島では、人が集まらないように、この時期の名物であるユリの花を切り取ったそうです。このように地域環境を破壊することにもつながります。自然をそのまま残しておくという倫理観が大切だと思います。

大型連休中の来沖に関して、私をはじめ沖縄側からの再三の呼びかけや、航空会社の皆さまのご協力により、現時点では大幅に減少していると伺って

います。大変多くの方々が来沖自粛にご協力を頂いており、心から感謝申し上げます。

まだ来沖を考えていらっしゃる県外在住の皆さまに対し、あらためて強くお願い申し上げます。今は沖縄にいらっしゃることをおやめください。今は温かく皆さまを迎えられる環境にはございません。

県の調査では、県外からの移動に由来するとみられる感染事例が多発しています。

観光については、美ら海水族館など主要な観光施設は全て閉鎖しており、観光を楽しむことは出来ません。

今いらっしゃるなくとも、沖縄は決して無くなることはありません。ただ、今だけはお休みをいただき、終息した後、最大限の笑顔でお迎えさせていただきたいのです。

一方で、医療従事者や生活インフラを支えるため、休まずに働く人々も多くいらっしゃいます。その皆さまへの感謝の気持ちを忘れないようお願い致します。

先日から呼びかけている医療資材の寄付のお願いに対し、県内外の個人の皆さま、団体・企業の皆さま、そしてこれまで長く交流を続けてきた福建省や台湾といった海外の皆さまから、たくさんのご支援を頂いております。心から感謝を申し上げますと共に、引き続きのご協力をお願い致します。

ウチナーンチュが大事にしている「ちむぐる」、「命どう宝」、「ゆいまーる」といった言葉を大切にしましょう。

うつらない、うつさない、医療機関をつぶさない、密閉、密集、密接を避けるといった取組を引き続きよろしく申し上げます。

令和2年4月30日

沖縄県知事 玉城 デニー